

令和5年度の重点課題

意識

○運動やスポーツが好き、やや好きと答える児童が男子が91%で、女子が78%であった。
 ○男女とも運動やスポーツに関する肯定的な回答が多く、スポーツを通して体育の授業との関連性を図ることや、肯定的な考えを維持するために、体育の授業内容の充実が求められる。
 ○体育の授業が楽しいと答える児童は90%であった。

体力

○男子

・「握力」「上体起こし」「50m走」において、県平均かつ全国平均を下回っている。

女子

・「ボール投げ」以外の全ての種目において、県平均かつ全国平均を下回っている。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

①体育科での取組

昨年に引き続き、サーキットトレーニングを全学年で取組んだ。また、各領域に合わせた準備運動に代わる「セットメニュー」も全学年で取組んだ。

②体育科以外での取組

体育委員会が主体となり、楽しみながら体力の向上を図る「体力向上委員会」を各学期1回以上実施し体力向上への児童の意識を高める活動を行った。行った内容として、「走り方教室」、「綱引き大会」、「長縄グランプリ」等を実施し全児童で取組んだ。

③家庭学習

長期休業中などは、家の中でできる運動を各学年の実態に合わせるなどし、縄跳びの課題を出す中で、目標をもって運動できるように取組んだ。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.65	21.69	35.51	46.41	56.14	9.36	162.24	24.39	57.32	第5学年	15.35	20.35	40.69	40.00	40.63	9.70	151.81	13.23	56.77

県平均値かつ全国平均値未滿

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.65	21.69	35.51	46.41	56.14	9.36	162.24	24.39	57.32	第5学年	15.35	20.35	40.69	40.00	40.63	9.70	151.81	13.23	56.77

県平均値かつ全国平均値未滿

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	70.59	19.61	5.88	3.92	第5学年	54.17	33.33	4.17	8.33

学校独自の意識調査

体育の授業は楽しいですか。	楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
	66%	24%	4%	6%

重点課題

情意面での課題

○運動やスポーツをすることが好き、やや好きと答えた児童の割合が男子児童は90.2%と去年と同様の結果であった。女子児童については、87.5%と去年と比べて9ポイント上昇している。
 →全体的に肯定的な考えを向上することができているが、男女とも90%を超えるために、体育授業のさらなる工夫が求められる。

体力面での課題

男子
 ○「握力」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
 女子
 ○「握力」「50m走」「ボール投げ」において県平均値かつ全国平均値より低い。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- セットメニューの充実
- ・各運動の領域に合わせた、アクティブチャイルドプログラム(※1)を取り入れたセットメニューを実施する。
- ※1 発達段階に応じて身に付けておくことが望ましい動きを習得する運動プログラム(体づくり運動、器械運動、走跳の運動、表現運動、ボール運動)
- ・主運動につながる楽しい補助運動を行う。
- 運動が楽しいと思える授業を実施する。
- ・単元との出会わせ方の工夫を通して、児童がやってみたいと思える授業を行う。
- ・スモールステップ化を取り入れ、児童が「できた」、「できるようになった」と思える授業を行う。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・体育委員会を中心とした「体力向上委員会(※2)」を企画し、児童が主体となって、運動を楽しむことを通して、体力の向上を図る取組を実施する。
- ※2 体力テストの結果を受けて、校内や中庭、校庭遊具を体力向上委員会会場として設定し、各学期1回以上、休憩時間を活用し実施する。
- ・「走り方教室」や「持久走教室」を実施し、速く走るコツや疲れず長く走るコツを学び実践できる機会を設定する。
- ・「学年綱引き大会」を実施し、握力を高めながら運動を楽しむ機会を設定する。
- ・長期休業中の課題として、学年の実態に応じた運動の機会を設ける。
- ・単元との出会わせ方の工夫についての研修を行う。
- ・体力向上に向けて、使用器具の正しい使い方や指導方法を校内で共有する。

令和7年度の重点目標値

- 運動やスポーツが好き、やや好きと回答する児童の割合を男女とも90%以上を維持する。
- 体育の授業が楽しい、やや楽しいと回答する児童の割合を90%以上にする。